

浦谷さんは、エアコンや空気清浄機などの「モータ」を開発する日本電産テクノモータ株式会社で、設計図面を作る仕事を担当しています。家族と離れたくないと、地元での就職を希望した浦谷さん。「高校在学中に取得した資格や、得意なパソコン操作を生かした仕事をしたいと思いました」と、この仕事を選んだ動機を笑顔で話します。

助言できる先輩になりたい

浦谷さんの仕事の秘けつは、モータによって異なる図面作成の手順を、その都度書き留めること。「ノートにまとめて見返すことを大切にしています。それでも分からない部分は、先輩に教えていただいています。いずれ私も先輩のように、後輩に助言ができるようになりますね」と、思いを話してくれました。



勤務先 日本電産テクノモータ株式会社
うらたに ももな 浦谷 桃奈 さん (21歳)

燃えろ! 青春! 部活道

競技を楽しみ、愛する

小浜第二中学校ソフトボール部では、1年生5人、2年生11人が、今秋の県大会でのベスト8入りを目標にして、練習に励んでいます。林さんは、自ら進んでキャプテンに就任。「みんなをまとめるのは得意なので、自分を生かせると思います」と、手を挙げた理由を話します。多くの部員が、中学生になってから競技を始めた初心者。林さんも同様で、「体験入部のときに、先輩が競技される姿を見て、格好良いとあこがれて入部しました」と話し、「ソフト



ソフトボール部 キャプテン
はやし いちか 林 一花 さん
(小浜第二中学校2年生)

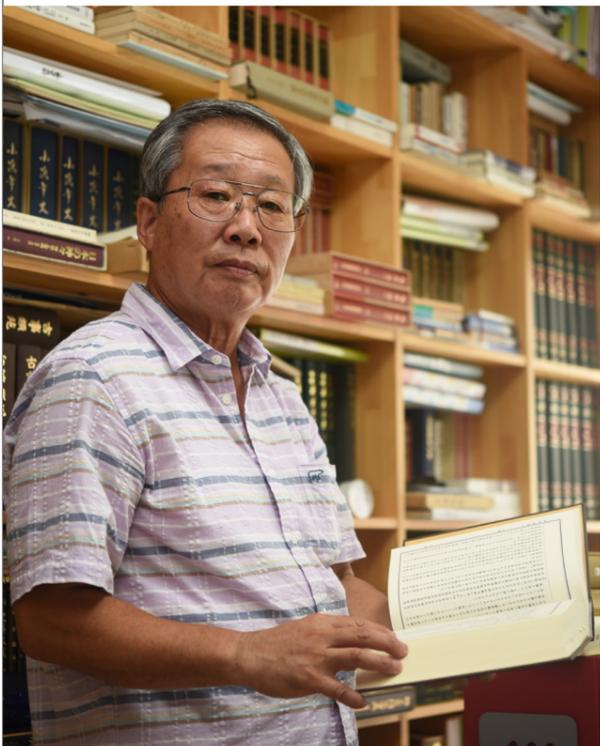
ボールは楽しい。試合や守備練習で、難しい打球を捕れたとき、みんながほめてくれると、すごくうれしい」と、声を弾ませます。部員の誰もが明るい笑顔を見せて、元氣いっぱい競技を行う同部。林さんは、「みんなソフトボールが好きで、意欲があるから笑顔になっていると思います。競技力向上には、競技を楽しみ、愛することが大切。一生懸命がんばって、みんなが技術を高め、部の目標を達成したいです」と、笑顔で話してくれました。

きりり! 小浜人

ふるさとの魅力発信が恩返し

今年で創設65年を迎える、小浜市郷土史研究会。会員の男女63人が、ふるさとの歴史について知識を深め、機関誌などで研究成果やその魅力を発信しています。会長を務める岸部さんは、幼い頃から父に歴史の話聞かされて育ち、大学院では日本中世史を専攻。「一見、無関係に思える個々の伝説なども、切り口を変えると実は接点があったりする。広い視野と深い知識でその接点を見出すのがおもしろい」と、歴史研究の魅力を語ります。

「都と縁が深い小浜は、埋もれた接点の多い『宝の山』。その魅力を市内外へ発信することが私の使命であり、ふるさとへの恩返しです」とほほ笑む岸部さん。昨年10月には、発信の場を広げようと、機関誌などを設置した同会の事務所を駅前町に開設しました。「中高生や観光客など、歴史や文化に興味を持つ人が気軽に立ち寄れる交流拠点にしたい。毎週水曜日には、事務所に会員が滞在しているので、気軽に立ち寄ってみてくださいね」



小浜市郷土史研究会 会長
きしべ まこと 岸部 誠 さん (71歳)

燃えろ! 青春! 部活道

声を掛け合い技術を磨く

1・2年生の男女42人が切磋琢磨する若狭高校テニス部。「練習では、学年の隔てなく、互いに気付いたことを助言し合っています」と話すのは、女子キャプテンの東谷さんです。東谷さんは、小学4年生から地域のクラブで競技を始め、中学時代は卓球部に所属しながらテニスも継続。高校でもテニスを続けたいと、同部に入部しました。競技を続ける原動力を尋ねると、「実は、小学生の頃は通うのが面倒で、あまり好きじゃなかったんです」と、

意外な返答。「中学に入って、テニスにかかる時間が限られてしまったことで、かえって楽しさを実感しました。本格的に好きになったのはそれからです」と、笑顔で話します。同部は競技経験者が多く、6月の高校総体県予選では団体戦ベスト4に進出。秋の県新人戦でも、上位入賞を目指して、練習に励んでいます。「進学しても競技を続けたい」という東谷さん。「将来の夢は教師。いずれは、顧問として競技に携わりたいですね」と語ってくれました。



テニス部 女子キャプテン
ひがしだに あゆ 東谷 愛唯 さん
(若狭高校2年生)

健康 生活のつら

禁煙しましょう
 禁煙外来の紹介

たばこが与える影響

2008年以降、スポーツの祭典であるオリンピックの開催都市には喫煙に関する法律が制定されています。日本でも、2020年4月から受動喫煙防止法が完全施行され、公共施設や未成年が入りやすい場所での喫煙が原則禁止されました。それはなぜか？答えは簡単で、たばこが有害だからです。

新型コロナウイルスに感染しやすい

実は、加熱式たばこや電子たばこでも、従来のたばこ比べて、体への影響は変わらないと考えられています。大事なのは健康であり、においや火災の心配は、二の次のはずです。

喫煙することで、気道免疫の低下などにより、新型コロナウイルスに感染しやすく、重症化リスクも高いと言われています。また、周りの人には、肺がん、ぜんそくの誘発と悪化、呼吸器感染症、乳幼児突然死などの影響を与えることが知られています。

杉田玄白記念 公立小浜病院
 ■問い合わせ ☎52・0990



健診センター
 丸山 市郎 医師

禁煙外来の受診を

禁煙の有効な手段である禁煙外来は、ニコチン依存症であり、1日の喫煙本数×喫煙年数が200以上の人が、または35歳未満の人が受診できます。3カ月間で5回の診察を受け、禁煙に伴う症状を抑える薬が処方されます。

市内には、当院を含み禁煙治療が受けられる医療機関があります。また、当院では扱っていませんが、スマートフォンで診察を受け、薬を自宅に届けもらうなどして手に入れる、オンライン診療という方法もあります。たばこをやめるなら、できるだけ早い方がいいです。自分と大切な人の健康を守るために、直ちに禁煙をしてください。

歴史 探訪

ふるさと文化財めぐり

学芸員が教える、「思わず人に話したくなる」歴史の裏話



明通寺寄進札

近年、取り組みや思いに共感する人々から、インターネット上で少額ずつ資金を調達する「クラウドファンディング」が普及し、文化財の修理資金を賄う新しい方法としても注目されています。

「明通寺寄進札」は、人々が写経を奉納・協賛するために、米や銭を明通寺（門前）に寄進（寄付）した事を記す木



▲薬師如来が描かれた1枚。寄進札の一部は明通寺で拝観できます

札です。父母の冥福や自身の幸福を願うため、良い行いをしようという、昔の人々の思いが込められています。寄進された米や銭は、寺院の修理や維持に使われました。

鎌倉時代の1309年から江戸時代の1694年までの385年間に奉納された396枚は、寄進札として全国で唯一、国の重要文化財に指定されています。その多くは、黒塗りの板に朱書きで経文が書かれています。中には上の写真のように、素朴なタッチで薬師如来の姿を描いたものもあり、バリエーション豊かです。願いや思いに共感する人々の協力を得て、寺院や文化財を守っていく姿は、今も昔も共通しています。

広告随時募集中

お問い合わせは広報・デジタル推進課まで
 ☎64・6009

----- 有料広告 -----

10/30(土)・10/31(日)
 ハッピーハロウィン
 かぼちゃ風呂
 本物のかぼちゃがお風呂に浮かびます！
 お食事処だけの利用もできます！
 小浜市川崎3-4 御食園若狭おばま
 食文化館内 濱の湯
 TEL0770-53-4126

小浜自動車学校
 2021年9月16日～全車種！
 秋の割引キャンペーン実施中！
 新型コロナウイルス感染拡大
 予防対策をしっかりと継続・実
 施して参ります。
 ☎0120-52-0839

安心と信頼 地元の石屋さん
 お墓ディレクター(1級)在籍
 (日本石材産業協会登録第12-100024号)
 (有)杉田石材店
 お気軽にご来店下さい。
 お電話でのご相談も承ります。
 小浜市小浜広峰 55
 ☎(0770)52-0748・FAX(0770)52-0853

安全と快適を生む環境づくり。
 ビル総合管理・警備保障システム
 AIVIX
 株式会社アイビックス
 若狭支店 / 917-0241 小浜市遠敷7丁目112
 TEL:0770-56-0266 FAX:0770-56-0268

4K対応テレビには
 BS4K放送対応STBを
 おすすめします！
 BS4K 放送対応 STB(2TB HDD 内蔵)
 BS4K 放送が見れて！録れて！
 取付料金 27,500円(税込)！
 詳しくはチャンネル0までお問い合わせください。
 ☎(0770)52-7200

広告
 随時募集中
 お問い合わせは
 広報・デジタル推進課まで
 ☎64・6009

編集後記

●今月から新企画「ふるさと文化財めぐり」(本ページ上部)の連載を開始しました▼本市は、幅広い時代・分野にまたがる、県内最多の文化財を有した「歴史と文化のまち」▼本企画では、これら文化財の現代との共通点や意外なエピソードを通じて、「思わず話したくなる」魅力を発信してまいります▼皆さんも、興味を持ったエピソードがあれば、お知り合いや市外の方などに話してみてください(池)

●「広報おばま」を見やすく読みやすいものにするため、紙面のデザインを変更しました▼種類が似ている情報は同じページに集め、記事ごとの間隔をできるだけ空けるほか、ページごとに多少の変更をしています▼変更にあたっては毎年実施している「広報アンケート」のご意見を参考にさせていただきます▼紙面作成は皆さんのご協力があったこそです▼今後ともよろしくお願いたします(理)